

# 課を超えて悩み解決の窓口

## 困った時の「あんしん子育て帳」を

一人で悩んでいる人はいませんか？尾道市が相談先などを分かりやすく紹介する「尾道あんしん子育て帳」を発刊しました。

県立広島大学地域戦略協働プロジェクト事業の一環で、保健福祉学部人間福祉学科の田中聡子教授と尾道市が部課をこえて子

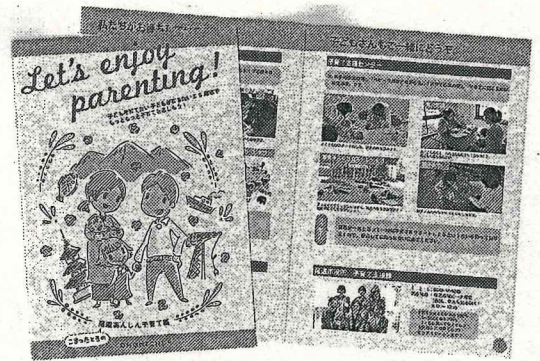
育てを応援する「子ども貧困対策プロジェクトチーム」が一緒に作成。

妊娠期から中学生期までの具体的な困りごとや不安の事例を挙げて、その時にま

ずどこへ相談すればよいのかをイラストや写真入りで紹介しています。A5判、15ページ。

子育て世代包括支援センターほか、くらしサポートセンター尾道などの取り組みや尾道市役所子育て支援課では「1歳前に進めなければ、1才前に進んでみませんか」と女性職員の笑顔の写真を入れています。

田中教授は「行政の



ガイドはとかく全てを網羅させますが、今回は典型的な事例を示すことで、分かりやすい内容に掛けました。相談者が初めどこのセクションにアクセスしても必ず話を拾い上げて、解決に結び付けるための窓口になれば」と話しています。

1000部を作り、子ども食堂や放課後子ども教室、スクールカウンセラー、民生委員、ハローワーク尾道などに配布しました。

【幾野伝】